

救急科で対応する主な重症疾患の年間診療実績

救急科では、院内で発生した重症患者、救急外来から入室する重症患者、他院から搬送される重症患者さんを対象に入院治療を行います。

具体的には高エネルギー外傷、熱傷、急性中毒、重症急性膵炎、昏睡型急性肝不全、重症敗血症、敗血症性ショック、心肺停止などです。

重症疾患診療数（2022年度）※初療時

疾患	n (人)
高エネルギー外傷	105
熱 傷	39
急性薬物中毒	26
CO中毒	3
重症急性膵炎	2
昏睡型急性肝不全	2
敗血症（敗血症性ショック）	55 (28)
心肺停止	375